



パンを求める人で 黒磯駅前が大賑わい ～くるるマーケット@黒磯駅前～

3月17日、黒磯駅前通りにて今年で2回目となるパンとスイーツを中心としたイベントが開催されました。小山市のコッパン専門店や、那須地区の日曜限定の雑貨店、そして市内のパン屋やスイーツ店など、地域内外からこだわりのお店が一堂に会しました。おいしいパン屋が多く集まるこの街ならではのイベントに、会場は多くの人々が詰めかけ、売り切れが続出。今年も大盛況となりました。



1くるる焼き(大判焼き)には常に行列が 2お店ごとに趣向を凝らしたパンをトレイに 3今年は雑貨屋さんも多く出店 4会場には動物とのふれあいコーナーも 5子どもたちに大人気のナスライガーショー



シンプルだけど奥が深いスポーツ ～市スポーツ交流大会～

3月17日、ロンドンパラリンピックのボッチャ日本代表である秋元妙美さんを講師に迎えて、講演会と障害者スポーツであるボッチャの体験会が、にしなすの運動公園体育館で行われました。講演会後に行われたボッチャの体験では、参加者が秋元さんたちの指導を受けながら実際にゲームを体験。最後の最後で大逆転もあるため、みんな夢中になってボールを投げていました。



1講演会では秋元さんの体験談に多くの方が聞き入った 2ボールは足で蹴って転がすこともできる 3全てのボールを投げ終えた時点で、青ボールが赤ボールより白ボールに近いので青チームに4点入る

◆「ボッチャ」ってなあに？



ボッチャは重度の障害がある人たちのためにヨーロッパで考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。赤・青6個のボールを投げたり転がしたり他のボールにぶつけたりして、目標球(白いボール)に対してどれだけ近づけるかを競います。



昭和へ思いをはせて ～博物館ギャラリーコンサート～

3月9日に那須野が原博物館で行われたギャラリーコンサート。この日は、ウクレレアンサンブルで活動する「森の仲間たち」の6人が、懐かしの昭和メロディーを奏でました。立ち見客が出るほどの盛況となり、「いつでも夢を」や「上を向いて歩こう」など、お客さんも口ずさみながら、ウクレレの優しい音色にうっとりしていました。演目終了後も拍手が鳴りやまず、お客さんの熱気にあふれるコンサートでした。



艶やかな色彩にうっとり ～十二単着付け体験～

ひな祭りの3月3日、「塩原のんびり湯つくり雑めぐり」の一環で、十二単の着付け体験が行われました。十二単の着付け体験は今回で3回目。市内外から訪れた10人が順に十二単を身にまとうと、道行く人たちがなかなか目にする事のない美しい姿に思わず足を止めていました。この日、一番目に着付けを体験した櫻井蒔漫さんは、「思っていたよりも重いけど、春らしい彩りが素敵で、貴重な体験ができました」と嬉しそうに話してくれました。



「ニア東京な暮らし」を体験 ～那須塩原市・小山市移住体験合同ツアー～

3月2、3日に行われた小山市との「移住体験合同ツアー」。首都圏から移住を希望する子育て世帯など13人が参加。ツアー1日目は那須塩原市内を巡り、道の駅明治の森・黒磯の見学や青木ホースガーデンで乗馬などをしたほか、塩原温泉に宿泊し自然豊かな暮らしを体験しました。また、先輩移住者との交流会も行われ、参加者はより具体的な那須塩原での暮らしがイメージできたようでした。



開拓の遺産をいかに活かすか ～日本遺産認定記念講演会～

「地域に残された遺産をいかに守り、内外に発信していくか」。3月2日、乃木温泉ホテルで日本遺産認定講演会が開催され、会場は詰めかけた多くの人の熱気に包まれました。パネルディスカッションでは、観光や文化振興、若者など多様な立場のパネラーが登壇。既にこの地域を訪れている多くの観光客に、日本遺産に認定された文化財までいかに足を運んでもらうかなど、白熱の議論が展開されました。